

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年3月9日

計画の名称	地域の活力と快適な暮らしを支える安全、安心なみちづくり			重点配分対象の該当	—
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）	交付対象	小山町		
計画の目標					

地区間を連結する補助幹線道路、及び、地域住民（町民）の生活拠点における主要な道路の整備や歩道設置等を推進して安全かつ円滑な通行を図るとともに、災害等の緊急時における避難地等の拠点への輸送、連絡ルートとしての機能を確立し、快適で安心して暮らせる町づくりに寄与する。

計画の成果目標（定量的指標）

1. 中心市街地における主要道路の歩道整備を行い、歩行者通行の安全性向上を図る。
2. 災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所の増加を図る。

定量的指標の定義及び算定式

各地区の中心市街地にある小中学校周辺の主要道路歩行者安全率を70%以上に向上する。
 歩行者安全率 = (主要道路の歩道整備延長) ÷ (主要道路の全延長)
 ※歩行者安全率 = 主要道路歩道整備率 とする。
 ※対象路線は、各地区小中学校から直径1km圏内の主要道路とする。

災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所の箇所数割合を80%以上に向上する。
 箇所数割合 = (大型バス、トレーラーアクセス可能な避難地箇所数) ÷ (避難地箇所総数)

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)	備考
60%	—	71%	
75%	—	83%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,286 百万円	A	2,286 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---	-------	-----------------------------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
111-A01-001	街路	一般	小山町	直接	小山町	S街路 改築 (都)大胡田用沢線	道路拡幅 0.5 km	小山町						610			
111-A01-002	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道 改築 (他)3975号線	道路拡幅 1.6 km	小山町						300			
111-A01-003	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道 改築 (2)用沢大御神線	道路拡幅 0.1 km	小山町						75			
111-A01-004	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道 改築 (1)大胡田用沢線	道路拡幅 0.9 km	小山町						290			
111-A01-005	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道 改築 (1)足柄三保線	道路拡幅 0.6 km	小山町						461			
111-A01-006	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道 改築 (他)2416号線ほか1路線	道路拡幅 1.0 km	小山町						550			
合計												2,286					

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
合計												0					

C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

交付金の執行状況

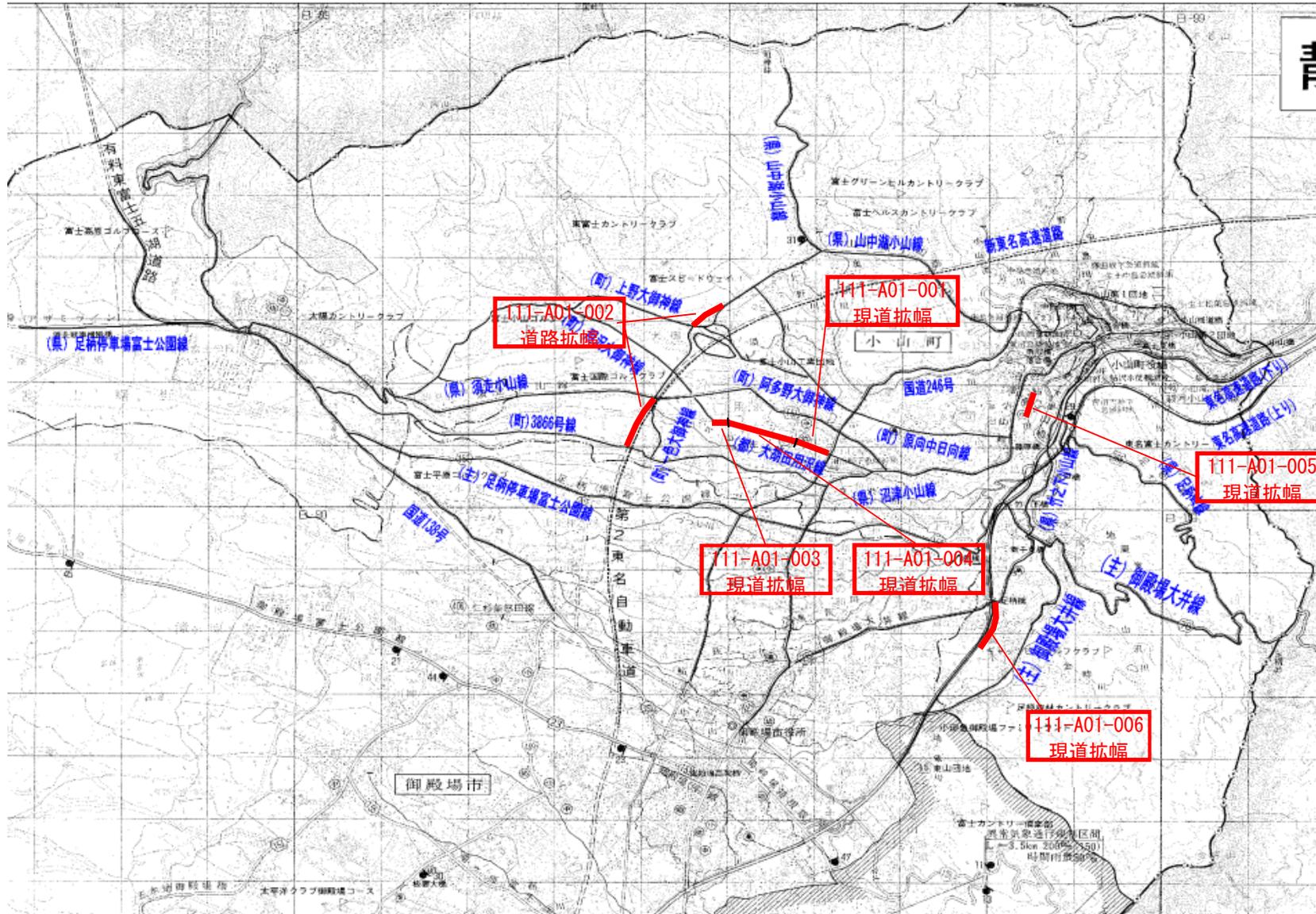
(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合 その理由					

※ 平成30年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	地域の活力と快適な暮らしを支える安全、安心なみちづくり		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	小山町



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：地域の活力と快適な暮らしを支える安全、安心なみちづくり

交付団体名：小山町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	—
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(第4次小山町総合計画、小山町都市計画マスタープラン改定計画)</small>	
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
③事業の効果	
1) 十分な事業効果が期待できる。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○